

会 議 録	
会 議 名	令和6年度第1回丸亀市総合教育会議
開催日時	令和6年7月22日(月) 13:30~14:45
開催場所	丸亀市役所3階303・304会議室
出席者	<p><b>出席委員</b> 松永恭二(市長)、末澤康彦(教育長)、徳永秀文、松岡舟、井下由美、立石陽志(以上敬称略)</p> <p><b>事務局</b> 市長公室長 栗山佳子 市長公室政策課 課長 真鍋裕章、副課長 藤井慶子</p> <p><b>市出席者</b> 教育部長 窪田徹也 教育部総務課 課長 土井節子、副課長 後藤幸功 文化財保存活用課 課長 東信男</p>
議 題	(1) 文化財の保存と活用について
傍聴者	0人
発言者	議事の概要及び発言の要旨
真鍋課長	<p>ただ今から令和6年度第1回丸亀市総合教育会議を開会します。本日の協議事項は、「文化財の保存と活用について」の1件です。</p> <p>本日の会議は、議事録作成支援システムを使用し、会議を記録しますので、恐れ入りますが、発言される際には、お手元のハンドマイクを使用し、発言するようお願いいたします。</p> <p>協議事項に入りますが、会議の進行につきましては市長の方でよろしく申し上げます。</p>
松永市長	<p>今回の協議事項については、教育長から本市における文化財の現状について知っていただきたいということで「文化財の保存と活用について」をテーマとさせていただきました。それでは、教育長から説明をお願いします。</p>
末澤教育長	<p>多面的に文化財の保存と活用について意見交換をし、本市の文化財のあり方についての方向性を考える機会となるようテーマに選定しました。</p> <p>文化財には相当の価値があり、どう保存し活用していくかが重要と考えております。</p> <p>例えば価値でいうと丸亀城の石垣についても、今復旧に取り組んでいますが、崩落して市民にとっても非常に大きい存在であったことを改めて感じています。その他の文化財についても素晴らしい価値がありますので、積極的に知らせることも重要であると感じています。</p> <p>また、文化財はまちづくりにとっても大きな要素であり、経済や暮らしやすさが重要であるとともに芸術や文化がまちの持つ豊かさや深さにつながるということです。</p>

	<p>ただ、文化財の保存や保全には大きな予算を伴うため、困難さも感じております。文化財の保存、活用の重要性については、人づくり石垣プロジェクトでも重要と捉え、取り組んでおりますが、今一度本市の文化財の現状を知っていただきたいと思うと同時に、保存と活用について意見交換ができたらと考えております。</p>
松永市長	<p>それでは担当課から説明をお願いしたいと思います。</p>
東課長	<p>(資料に基づき説明)</p>
松永市長	<p>延寿閣別館は、江戸時代の建物を移築してきたものでなく、建築時期が昭和初期で築90年ということでしょうか。</p>
東課長	<p>はい。建築士によると江戸時代のものではなく、大正や昭和期の部材が使われているようです。江戸時代に麻布に京極家の屋敷があったことで、そのまま移築されたという風にとらわれがちですが、江戸時代の建物は一度取り払われ、その後建てた京極家の屋敷の一部を運んで、こちらで組み立てて整備したのが延寿閣別館ということになります。よって移築後90年ということになります。</p>
松永市長	<p>わかりました。</p>
末澤教育長	<p>丸亀城は国有地と市有地があり、管理は丸亀市で行っていると思います。今般の石垣の崩落の費用や管理の面はどちらが行いますか。また、文化財について、活用に重きを置くような法律に変わり、活用の仕方に柔軟性ができたのか教えてください。</p>
東課長	<p>三の丸より上方が丸亀市の土地、その他の部分が概ね当時陸軍省、現在の財務省の管轄となっておりますが、お城全体の管理は管理団体となる本市が行っております。ただし、国の指定史跡ですので、修復の費用も含め、国の補助金を得ながら行っています。天守閣、大手門などの耐震補強も補助事業として行っています。</p>
立石委員	<p>文化財の保存に関して、以前は文化庁の管理が厳しく、遊園地や動物園、グラウンドのような市民の憩いの場がなくなっていったと思います。現在は、活用も含めて、宿泊施設としての開放が認められたと思いますが、どの程度まで許容されているのでしょうか。お土産を販売する店舗もありますが、大勢の観光客が来て、丸亀城、資料館のいろいろなものが見ていただけるような環境づくりが可能なのかお聞きします。</p>
東課長	<p>これまでは保存整備計画の作成でしたが、文化庁から保存活用計画の作成の指示があり、活用については、自由にとということではなく、お城の本質的価値を認識した上で来場者が歴史を体感できるような整備を行い活用するということです。今年度からは、これまで見学のみであった大手門の中を一般の方が利用できる場となっております。</p>

松永市長	<p>す。</p> <p>説明に対して、ご意見やご質問がありましたらお願いします。</p>
徳永委員	<p>無形文化財の活用の部分において、教育の分野に対してどういう風に反映していくのが大切だと思います。人づくり石垣プロジェクトにおいても、歴史的建造物などを訪問して歴史や文化を体感するような取組もありますが、無形文化財では、例えば飯山の坂本念仏踊りの伝承教室などのような、教育との接点となる具体的な事業があれば教えていただくとともに、今後の方向性もありましたら教えていただきたいです。</p>
東課長	<p>無形文化財は、県指定の坂本念仏踊りと垂水神社の湯立神楽、市指定で岡田踊りという3件がございます。湯立神楽については、地元の神楽とともに湯立神事が毎年行われているところです。また、神楽を継承していく育成事業を国の補助金により行い、現在は神楽を伝承していく方々がすでにいます。岡田踊りも、国の補助金により道具や衣装を新調し、粛々と活動しております。坂本念仏踊りに関しましては、飯山中学校で、2回公開授業を行うなど、その伝承に努めています。昨年度は、中四国の民俗芸能の大きな大会があり、坂本念仏踊りを推薦しましたので、PRができたと思っております。今後も補助金の活用やPRにより継続してまいります。</p>
末澤教育長	<p>人づくり石垣プロジェクトで、小学6年生が本島、中学1年生が中津万象園に行き、歴史や文化に触れる取組を行っています。歴史を見聞きし、貴重な体験をすることにより、ふるさとに対する誇りや愛着を持つとともに、自分が住むところにもずっと受け継がれてきた有形無形問わず文化財があるということに目を向けて欲しいなという思いで教育委員会としても、今後も注力してまいりたいと思います。</p>
松岡会員	<p>子どもたちが、歴史的な場所に赴き説明を受けたという機会があるということは、何十年も先でも記憶に残り、同級生などとの共通点や一体感を持てるとともに地域への愛着や誇りが養われると思います。また、ゲームや漫画、小説などに、コンテンツやアイデアを取り上げられることで全国から注目されて本物を丸亀市まで見に来てくださり、逆に丸亀市民の人たちもその価値を再発見したという経験がここ数年あったと思います。そのような間口が広がるようなコンテンツを、丸亀の子たちが身をもって学び、将来作っていつてくれるような人が現れればいいと思います。</p>
東課長	<p>最も影響が大きかったのが「ニッカリ青江」を題材とした刀剣女子が今ブームにもなっています。資料館には、今秋にも展示しますが、大勢の方が丸亀に来ていただける機会ですので、展示だけでなく場内や市内でも関連するイベントを考えています。委員がおっしゃるようなコンテンツというのは非常に注目度や影響が大きいということを実感しております。</p>

末澤教育長	<p>中学校の社会科歴史の教科書ですが、最初のところに、未来に向けてよりよい社会を目指してということが書かれています。歴史を学ぶことを通して、これからの社会をどう作っていくかということが非常に大事ということ述べているのだと思います。よって、しっかりと地域の歴史に目を向けることで、自分たちがこれからの社会を守る主体となっていくという意識に繋がっていけばいいと思います。地元に住んで丸亀を担っていく、また違うところに住みながらも丸亀や社会全体を担っていくような意識を醸成するためにも、文化財の活用というところから繋がっていくと感じています。</p>
松永市長	<p>私も丸亀にたくさんの文化財があることを知り、近所のお寺など改めて行ってみたいと思いました。教育長や他の委員の先生方がおっしゃったように、子どもたちにも丸亀にあるいろんな文化財を実際見て体感することが大切だと思います。学校の授業のプログラムに組み込むのは容易ではないと思いますが、先生方のご努力などによって、子どもたちが少しでも多くの文化財を見て体験してもらえるといいなということ思った次第です。有名な丸亀城や塩飽勤番所、笠島以外に子どもたちに勧める場所やものはありますか。</p>
東課長	<p>古い時代のものと、市民球場には中の池遺跡という弥生時代の大集落の跡があり、一部竪穴式住居の平面や環濠を残した復元を行い、市民球場の入口には出てきた本物の土器や銅剣のかけらを展示していますので、市民球場での運動の機会に見ていただけたらと思います。また、綾歌町に西長尾城が 300 メートルほどの高さの山の上にあり、そこからの丸亀平野の景観は絶景です。何故この場所に築城したかという当時の人の気持ちがよくわかると思いますので、実際にまた見に行っていたらと思います。その他は、綾歌町や青の山、飯山町にも残っている古墳、市役所周辺ですと玄要寺に京極家 6 代藩主京極高朗様の墓所なども見ていただけたらと思います。</p>
末澤教育長	<p>お手元に配布しているのは、一部分ではありますが、市内小学生が本島に行った際の感想を書いたもので、少し読んだだけでも思いが感じられ、現地で体験し感じるこの大切さがわかります。文化財の活用の難しさはありますが、今後の可能性は非常に高いと感じるとともに、また子どもたちの心に何かしら残ったという意味からも、非常によかったと感じております。</p>
松永市長	<p>ほかに質問等なければ、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>